

多摩川最近1年の全レースを分析する!!

インが弱い分2コースが強い!

多摩川で直近の1年間(2020年7月1日~2021年6月30日)に行われた全レースの集計が右下の表だ。表1

まずイン(1コース)の1着率は53.5%。全国では年を追うごとにインの強さが顕著になっているが、多摩川でもその傾向は変わらない。それでも全国平均に比べるとまだ2.6%低い。

その分どのコースが強いかというと2コースで、2.5%高くなっている。かつてはセンター(とくに3コース)が強かった多摩川だが、最近の3~6コースの1着率は全国平均とほぼ同じ。「センター・アウトが強い」という潜在観念があったとしたら、少し見直した方が良さそうだ。

インが勝った時の2着は…

インが1着だった時の2着数は、2→3→4→5→6コースの順に多い。レース場によっては3コースの方が多かったり、2・3・4コースでかなり拮抗している水面もあるが、多摩川の場合はコースが遠くなるほど2着数が少なくなる。

逆にインが負けた時だが、2~5コースが勝った時の2着が一番多いのは1コース。インは負けても2着に残すことが多い。これは多摩川の場合、インに入った艇が握って回るレースが多いことが要因のひとつと考えられる。「潰されて大敗」というケースは少ないのだ。

まくりはソコソコ効く水面

決まり手のデータも見ておくと、「逃げ」率が全国平均より低くなっている分、「まくり」「まくり差し」「差し」の比率がそれぞれ、少しずつだが高くなっている。表2

以前はまくりが利く水面で、「とにかくスピード優先で、差しは旋回力がないと決まらない」と指摘されてきたが、その傾向はソコソコ残しつつ、差しも決まるようになってきている。

予想に役立ててね!



表1 多摩川・最近1年間の1着コースと2着コース

多摩川	1着1コース	1着2コース	1着3コース	1着4コース	1着5コース	1着6コース
2着 1コース		6.9%	4.6%	3.6%	1.8%	0.4%
2着 2コース	18.2%		2.2%	2.4%	1.1%	0.4%
2着 3コース	14.7%	4.2%		1.4%	0.8%	0.4%
2着 4コース	12.0%	2.6%	3.0%		1.1%	0.1%
2着 5コース	5.7%	1.7%	1.6%	1.9%		0.4%
2着 6コース	2.8%	1.2%	0.9%	1.2%	0.8%	
合 計	53.5%	16.8%	12.2%	10.4%	5.6%	1.5%
全国平均	56.1%	14.3%	12.2%	10.3%	5.3%	1.7%

表2 多摩川と全国の決まり手比較

	逃げ	まくり	まくり差し	差し	抜き	恵まれ
多摩川	51.3%	15.8%	11.2%	14.5%	6.7%	0.6%
全国平均	53.4%	14.4%	10.8%	13.4%	7.1%	0.8%

多摩川巧者はこの選手!!

今回の出場選手で、最近3年間の多摩川勝率の高いベスト10は右表の各選手。同期間中に行われたGI・SGレースの好走選手もピックアップしてみた。

ひとり断然抜けているのが毒島誠で、昨年2月の65周年準優勝の後、66周年を含む4連続優勝中。

当地実績で次ぐのは桐生順平。今年2月の地区選を制し、66周年でも優出している。

当地を走る機会は少なくとも、大きなレースで優出している銘柄級はさすが。篠崎元志は66周年4着の1回しか走っていないが、58周年で優勝した実績もある。徳増秀樹と太田和美は一昨年のグランドチャンピオンで優出している。

伏兵クラスでも当地で好走している選手が何人かいる。上野真之介・島村隆幸・佐藤翼、それに後藤翔之は地の利を存分に発揮。GIでも好走している。

最近3年間の多摩川勝率ベスト10

順位	選手名	勝率	優出	優勝
1	毒島 誠	9.04	5	4
2	篠崎 元志	9.00	1	0
3	池田 浩二	8.18	1	0
4	上野真之介	8.12	2	0
5	桐生 順平	7.90	4	1
6	下條雄太郎	7.80	0	0
7	原田 幸哉	7.77	0	0
8	島村 隆幸	7.70	1	1
9	佐藤 翼	7.58	1	0
10	徳増 秀樹	7.56	1	0

最近3年・多摩川GI以上のレース優出選手

選手名	勝率
毒島 誠	66周年①、65周年②
篠崎 元志	66周年④
池田 浩二	65周年④
桐生 順平	66周年⑥、21年地区選①
後藤 翔之	64周年⑤、21年地区選⑤
太田 和美	19年GC③
徳増 秀樹	19年GC④
濱野谷 憲吾	21年地区選③